

令和7年度 阿久比町教育委員会
事務点検・評価報告書
(令和6年度実施事務事業)



令和7年9月
阿久比町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することが求められています。

この目的は、教育委員会が点検・評価を行い、その結果を公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくというものです。

また、この点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

本報告書は、令和6年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してまとめたものです。

令和7年9月

阿久比町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の構成	4
2	教育委員会会議の開催状況	5
3	総合教育会議の開催状況	5
4	教育委員会後援名義使用の状況	5
5	学校訪問の実施状況	5
6	教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）	6
II	教育委員会施策の自己点検・評価	
	●学校教育関係	
1	幼保小中一貫教育の推進	8-11
2	いじめ・不登校対策の充実	12-13
3	学校施設及び設備の整備・改修等の推進	14-17
4	安全安心な学校給食センター運営	18-19
	●社会教育関係	
5	魅力ある生涯学習機会の提供	20-22
6	多様な学習機会の提供	23-24
7	魅力ある図書館づくりの推進	25-27
8	スポーツ施設及び設備の整備等の推進	28-30
9	多様なスポーツ及びイベント機会の提供	31-35
III	学識経験者の意見	
	教育委員会事務評価委員会報告書	38-41

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

令和6年4月1日～令和6年9月30日

役 職	委 員 名	任 期	備 考
教 育 長	竹 内 淳	令和5年4月1日～令和8年3月31日	
教 育 長 職務代理者	中條屋由香里	令和2年10月1日～令和6年9月30日	
委 員	稲葉 清仁	令和3年10月1日～令和7年9月30日	
委 員	竹内 賢司	令和4年10月1日～令和8年9月30日	
委 員	竹内比名子	令和5年10月1日～令和9年9月30日	

令和6年10月1日～令和7年3月31日

役 職	委 員 名	任 期	備 考
教 育 長	竹 内 淳	令和5年4月1日～令和8年3月31日	
教 育 長 職務代理者	稲葉 清仁	令和3年10月1日～令和7年9月30日	
委 員	竹内 賢司	令和4年10月1日～令和8年9月30日	
委 員	竹内比名子	令和5年10月1日～令和9年9月30日	
委 員	古川 千歩	令和6年10月1日～令和10年9月30日	

2 教育委員会会議の開催状況

下記のとおり定例会及び臨時会を開催し、議案22件の審議を行った。

実施期間 令和6年4月 から 令和7年3月 まで
定例会 12回 臨時会 2回

3 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成27年度に町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置された。令和6年度は令和7年1月15日(水)に阿久比町役場会議室101で開催し、下記の議題について検討した。

議 題 「学校プールの老朽化とプール授業の対応について」

4 教育委員会後援名義使用の状況

事務局による書類審査を行った。また、記載内容に疑義のあったものについては、事務局より申請者に改めて聴き取りを行い、可否を決定した。

申請数 47件 許可 47件 取消 1件

5 学校訪問の実施状況

学校参観という形で、教育委員会委員や教育長、教育委員会の職員が学校へ出向き、授業等を視察した。その後、学校・園幹部と、授業の改善、家庭における生活習慣の形成、いじめ・不登校への対応、特別な支援を要する園児・児童・生徒への対応、学校の安全体制の整備、部活動などについてより良い学校・園運営のための意見交換を行った。

開催日	学校名	備考
5月31日(金)	ほくぶ幼稚園	
6月20日(木)	英比小学校	
6月28日(金)	東部中学校	
9月18日(水)	南部小学校	
9月25日(水)	阿久比中学校	
11月1日(金)	草木小学校	

6 教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）

令和6年度は下記の行事に出席した。

- ・各小中学校入学式及び卒業式、幼稚園入園式及び卒園式
- ・教職員辞令伝達式
- ・愛知県市町村教育委員会連合会定期総会
- ・知多地方教育事務協議会
- ・知多地方教育委員研修会
- ・阿久比町教育支援委員会
- ・いじめ等問題対策連絡協議会
- ・生涯学習フェスティバル
- ・文協まつり
- ・青少年健全育成推進大会
- ・野外音楽会
- ・ダイヤモンド婚者・金婚者お祝いの会
- ・阿久比スポーツフェスティバルレクリエーション大会
- ・書き初め大会（表彰式）
- ・凧あげ大会
- ・二十歳の祝典

など

Ⅱ 教育委員会施策の自己点検・評価

施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
-----	---------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

- 15歳の「めざす生徒像」を定め、幼保小中の職員(保育士・教諭)、保護者のみならず、地域や行政職員を加え町内全ての大人が子どもたちと関わり、阿久比町全体が学び舎となって、子どもを育てることをめざしている。20年が経過した第6期として、「欠落なき教育」「落差なき教育」「段差なき教育」の理念は継承しつつ、子どもたちの実態を把握し未来に向けて必要な力をつけるために、今日的課題に対して活動部を再編し、新たな取組を推進した。

【令和6年度の取組状況】

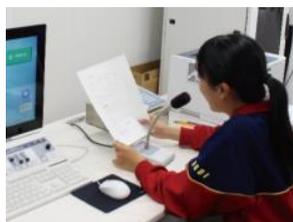
- 従来の「幼保小接続部」「小中接続部」を統合し、「幼保小中接続部」とした。
- 今日的課題から「体力向上推進部」、「外国語活動部」をそれぞれ新設した。
- 「特別支援教育部」は、これまでの取組を通して一定の成果を示すことができたため、一貫教育からは切り離し、町特別支援教育部で引き続き取り組むこととした。

<各部会の取組>

① 啓発連携部

幼保小中高一斉あいさつ運動、親子ふれあいキャンペーン、学びウィークやノーメディアデーといったこれまで継続している活動を持続可能な形として体現すべく取り組んだ。また、地域の方を講師として迎えて行う「土曜学習」や学校支援ボランティアなど、引き続き地域の方々と協働して取り組んだ。

幼保小中高一斉あいさつ運動では各校の実情に合わせ、朝だけではなく、休み時間や下校時に活動するなどの工夫をした。阿久比高校の生徒と小・中学生が一緒になって阿久比駅でも活動した。今年度は、町内防



【防災無線での啓発(録音)】



【小学校へ出向く中学生たち】

災行政無線で啓発を呼びかけたり、中学生が小学校に出向いて校門で活動したりという新しい取組も行った。

学びウィークは、中学校のテスト週間に合わせ、各種学習コンクールとタイアップして児童の意欲の向上を図り、学習習慣を身に付けさせるだけでなく、保護者の家庭学習への意識を高めることにつなげた。親子ふれあいキャンペーンでは、昨年度に続き、家庭での取組カレンダーを集め、町立図書館に成果を掲示した。

② 幼保小中接続部

幼稚園や保育園から中学校までを見通して、子どもも教職員もスムーズな接続ができるようにする目的は変わらないが、幼保小接続部と小中接続部を統合したため、活動を精選して持続可能な取組として実施した。

1学期には、小学校でのスムーズなスタートが切れるように、入学当初3週間に自由遊びを取り入れたカリキュラムを実施した。また、幼保小連絡会、小中連絡会では、卒園・小学校卒業の子どもたちの元担任が小学校・中学校でそれぞれ授業参観を行い、現担任と情報交換を行った。

夏休みには、幼稚園・保育園体験研修として、小中学校の初任者および中堅教諭資質向上研修該当者に絞り、異校種である幼稚園・保育園で1日体験研修を行い、園・学校の教育のつながりを再確認することができた。



【小学校教員の保育園研修】



【交流で楽しむ年長児たち】

2学期には、幼保、小中の接続の不安を解消する一つの取組として、町一斉幼保小交流会、先輩の話を聞く会を引き続き実施した。幼保小交流会は例年同様「あぐい教育週間」の一環として10月最終週に実施した。各校の1年児童が年長児をもてなす企画を工夫して交流できた。

これまで園および小学校カリキュラムとしての位置づけから、町内園在園児のみを対象としていたが、町外園在園児にも拡大することとし、広報にて案内、周知した。(実際には町外園からの参加はなかった。)

先輩の話を聞く会では、3年生徒が母校を訪れて、中学校の様子を6年児童に説明した。タブレット端末を利用した質問集約、説明時に実物投影機や電子黒板を活用する等、ICT利用を前提とした取組も定着している。



【交流で楽しむ年長児たち】

3学期には、小学校・中学校入学説明会を行い、保護者への説明会中・後に授業参観の時間を設ける等、小学校・中学校の授業のイメージをもたせることができた。

③ 体力向上推進部

全国的に子どもの体力の低下が著しく、運動をする子どもとそうでない子どもの二極化が見られ、町小中学生の「全国体力・運動能力、習慣等調査」の体力合計点でも、男女とも種目によっては全国平均を下回るものがあった。そこで、

- ・幼保小中で系統的に活動に取り組み、子どもたちの体力向上を図る。
- ・自ら運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わえる子どもたちを育成する。

をテーマに、発達段階ごとの取組を実践した。系統立てて取り組めるよう、樹木の「根っこ（幼稚園・保育園）、幹（小学校）、枝葉（中学校）」と位置付けた。

幼稚園・保育園は「つくろう！体力向上の根っこ」をテーマに、リトミック、自重を支える運動、遊具遊び、ボールや手具を使った統合遊びなど、楽しみながら体幹をつくる活動を取り入れた。



【カードをまねた遊び】



【体カテストの様子】

小学校は「伸ばそう！体力向上の幹」、中学校は「広げよう！体力向上の枝葉」をテーマに、町体育部会を中心とした体育授業の変革に取り組んだ。1人1台端末等を利用し、「あいち体育のページ」を活用した継続的な体力向上運動や、休み時間に体力向上を図るチャレンジ種目を設定する等した。

体力テストでは、昨年度の自分の記録を把握し、今年度の目標「ベストスコア」を設定して取り組ませたことにより、抽出調査のある小学5年、中学2年において反復横跳びは男女とも全国平均を上回るなど、前年度より結果に高まりがみられるようになった。一方で握力やボール投げでは県平均を下回っており課題がみられた。

④ 外国語活動部

中学校卒業時の英語力の到達目標となる英語検定3級程度という国の指針から、幼稚園・保育園の段階から、「英語が好き・楽しい」と思える子どもを育てることを目指し、各園・校での具体的な取組や工夫された活動内容を考えて活動につなげた。

保育園・幼稚園では、「まずは親しむこと」を目的に、幼児向け英語動画の視聴や英語の絵本の設置、英語に限らず世界各国のことについての紹介の掲示をした。興味をもって手に取る園児が多くおり、興味関心をもたせることができた。



【絵本や各国の紹介の掲示】

世界各国の紹介では、外国にルーツをもつ園児の国について紹介する園もあり、園児だけでなく保護者に向けての取組にもなった。また、英語教育に力を入れる私立園の協力をもとに公立園との交流も行った。



【ALTとのTTによる授業】

小学1・2年では、余剰時間等を用いてALTとのTTによる英語に慣れ親しむ授業を行った。担当校では授業公開も行い、各園・小学校から多くの先生方も参観し研修した。動画の視聴や英語遊び等を通じて、子どもたちは目を輝かせて英語を聞いたり話したりしていた。小学1年の授業では、日頃

中学校は、日頃の外国語の授業でALTとの授業を行うとともに、授業外での取組として季節ごとの掲示物や英語のWordサーチなど生徒の興味をひく工夫を行い、関心をもたせることに努めた。

園・学校共通の取組として、学期に1回1週間程度「イングリッシュ・ウィーク」を実施し、児童・生徒による英語の校内放送、ALTや担任による英語の絵本の読み聞かせ、クラスルームイングリッシュによる朝の会・帰りの



【英語絵本の読み聞かせ】



【英語での校内放送】

会などの実施や英語の歌の練習など、各園・校において子どもが英語に親しむための取組を行った。子どもが英語に慣れ親しむ中で、「Good morning! (おはよう)」「See you! (またね)」といった英会話が自然と口に出てくる子どももいた。

また、小中学校においては、町の国際交流事業として、日本福祉大学との包括連携協定を利用して、日本福祉大学の留学生と国際交流（異文化交流）を行った。英語圏以外からの留学生も多く、英語を特化した活動とはならなかったものの、日本語も堪能であることから、特定のクラスだけでなく、小学1年から中学3年まで多くの交流の機会を設定することで小学校低学年の児童も積極的に参加することができた。

<まとめ誌の製作>

これまで各期のまとめには全国発表やまとめの冊子を製作してきた。ここ数年はコロナ禍において交流を含めた活動ができなかったため、大きな取組成果を形として残すことができなかった。再び活動を多く行えるようになり、また20年の節目ということもあり、成果を「1年のあゆみ」のまとめ誌として製作した。

活字による報告・指導案やカリキュラムなどを取りまとめた従来の冊子とはコンセプトを変え、写真で活動の様子を分かりやすく紹介するものとした。各園・学校に配付するとともに、行政視察など外部への紹介資料としても活用できるようにした。



【写真で振り返る1年のあゆみ】

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 子どもたちのめざす姿の実現のためを目標に、際限なく時間をかけて取り組むのではなく、今日の実態（教員の働き方改革など）に沿った「限られた時間で最大限の成果を出す」ことに努めた。継続した部会での取組は精選をしながらも新たな取組も加え、持続可能な取組と新たな取組を織り交ぜての取組を実践できた。
- ◇ 新設した部会では、新たな取組を実践し、初年度の成果を得ることができた。「とにかくやってみる」という段階から次の手だてを考案し、幼稚園・保育園を含めた系統立てた仕組みを構築していくこと、また、幼稚園教諭・保育士と小中学校教諭との連携により、指導・支援の在り方を共有していく必要がある。

施策名	2 いじめ・不登校対策の充実
-----	----------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

令和6年度事務評価委員会報告書において、中学校の不登校生徒数増加が課題であるとして指摘をいただき、「いじめ・不登校」をテーマに自己点検を行うこととした。

【施策の概要】

- 児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるよう、いじめの未然防止及び早期発見、早期対応に努める。
- 教育委員会、教育相談センター及び小中学校が連携し、不登校児童・生徒及び保護者に対する相談・支援体制を確立し、安心できる居場所づくりや、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立する支援をする。

【令和6年度の取組状況】

- 各学校において「学校いじめ防止基本方針」を策定し、阿久比町いじめ等問題対策連絡協議会を令和6年6月13日及び令和7年2月5日に開催した。小中学校関係者、町教育・民生・人権等に関する委員等がいじめ・不登校等について協議・情報交換した。
- 心理資格を持つ教育相談員が、児童生徒や保護者の相談を行い、関係者と連携を図り、不安の解消や問題解決の支援を行った。またスクールカウンセラーが、児童生徒との面談、保護者の抱える不安、教職員の生徒指導上の悩みなどに対して、公認心理師・臨床心理士として専門的な助言・援助活動を行った。関係者と連携して問題の早期発見に努め、対応した。
- スクールソーシャルワーカーを専任として1名増員し、社会福祉士として福祉面のアプローチを充実し、より迅速できめ細かな支援を行った。学校巡回、家庭訪問、ケース会議など支援の幅を広げた。学校を基盤に、児童生徒や保護者が生活で抱えている問題について、家庭などへの働きかけや、学校外の専門機関につなぐことを通して問題解決の援助を行った。
- 学校教育指導員が教育支援センター「こすもす」で、さまざまな理由で学校に気持ちが向かない児童生徒に対し、生活の自立と集団生活への適応を支援した。安心できる「心の居場所」をつくり、温かい人間関係を培った。
- 令和7年度より複雑困難な事案に対応するためのスクールソーシャルワーカースーパーバイザー委託料、阿久比中学校の校内教育支援センター「オアシス」の運営を補強するための支援員を配置する予算を計上した。

いじめ件数

	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	件数	14	10	29	23	14
	解消数	14	10	28	17	9
中学校	件数	36	84	52	74	77
	解消数	33	80	43	66	56

不登校（欠席30日以上）人数（%は全体に占める割合）

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	16 (0.7%)	25 (1.1%)	34 (1.5%)	47 (2.1%)	41 (1.9%)
中学校	39 (4.8%)	64 (7.5%)	84 (8.9%)	82 (8.2%)	77 (7.2%)
総計	55 (1.8%)	89 (2.9%)	118 (3.7%)	129 (4.0%)	118 (3.7%)

不登校（1,000人当たりの不登校児童生徒数）

年度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	阿久比町	7.4	11.2	15.3	21.2	19.2
	全国	10.0	13.0	17.0	21.4	—
中学校	阿久比町	48.4	74.9	89.0	82.0	72.2
	全国	40.9	50.0	59.8	67.1	—

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーがそれぞれのもつ情報を必要な範囲で共有することにより、より適切な支援につなげた。
- ◇ スクールソーシャルワーカーが学校を巡回し、教員と情報共有を図ることで役割が明確になり、教員の負担軽減につながった。また行政、教育現場の連絡調整役を担うことで、迅速な対応が可能になった。
- ◇ 学校と教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが同じ方針で活動するために、打ち合わせや報告の必要があるが、十分な時間が確保できない場合もあり、工夫が必要である。
- ◇ 中学校でのいじめ件数や小中学校における不登校児童生徒数が高止まり傾向にあり、支援は依然として必要性を増している。単年度の雇用をしているが、専門性の高い職種であり、相談者・支援者との信頼関係構築も必要な職務であるため、長期的に安定して人材を確保することが課題である。

施策名	3 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
-----	----------------------

(担当：学校教育課 庶務係)

【施策の概要】

○ 施設について

町内の4小学校1中学校の校舎は、築年数40年から50年経過しているものが多数あり、老朽化による問題が多発している。児童生徒の安全を第一に考え、必要な整備や改修工事を順次行っている。また、阿久比中学校の生徒数の増加に対応すべく、施設整備を行っている。

○ 設備・ICT機器について

子どもたちが授業を受けるための安全で快適な教育環境を整備するため、教室への空調機器設置やICT機器の導入をはじめ、必要な設備や備品等の整備を進めている。

【工事・事業等における令和6年度の実施状況】

○ 小学校校舎等改修工事・修繕（主なもの）

1 東部小学校特別教室空調設置工事 19,470,000円（【国】補助額3,954,000円）

家庭科室、教育相談室、理科室の3教室に空調設備を整備

2 草木小学校特別教室空調設置工事 17,380,000円（【国】補助額3,208,000円）

図工室、家庭科室、理科室の3教室に空調設備を整備

3 英比小学校児童用ロッカー等改修工事 10,230,000円

老朽化のため、国産の木材を使用したロッカーへの改修工事を実施

4 南部小学校北校舎1階サッシ改修工事 24,750,000円（【国】補助額8,459,000円）

老朽化のため、サッシ改修工事を実施

5 南部小学校防火シャッター改修工事 3,128,000円

老朽化及び災害時に備え、防火シャッター改修工事を実施



(写真：英比小学校児童用ロッカー等改修工事（左）
南部小学校北校舎1階サッシ改修工事（上））

○ 中学校校舎等改修工事・修繕（主なもの）

1 阿久比中学校北校舎ガラスフィルム設置工事 5,940,000 円

災害時のガラス飛散を防止するため、ガラスフィルム設置工事を実施

2 阿久比中学校渡り廊下改修工事 1,168,000 円

雨の降り込み防止のため、本館と南館を繋ぐ渡り廊下にカーテン、フェンスを設置する改修工事を実施

3 阿久比中学校国旗掲揚塔改修工事 886,000 円

老朽化のため、国旗掲揚塔改修工事を実施



(写真：阿久比中学校渡り廊下改修工事)

【ICT機器等導入に関する令和6年度取組状況】

○ 生徒数教職員数増加に伴うICT機器購入（主なもの）

1 小中学校 ICT 機器移設等業務委託 352,000 円

阿久比中学校、英比小学校の学級数増に対応するため、電子黒板、タブレット充電保管庫を東部小学校から移設

2 阿久比中学校教師用パソコン借上 1 か月分 4,510 円 (5 年合計 270,600 円)

阿久比中学校職員数増に対応するため、教師用（校務用）パソコン2台を追加導入

○ ICT教育推進に関するもの

1 ICT支援業務委託料 (小) 8,448,000 円 (中) 2,059,200 円

各校のICT教育の操作サポートを行うため、ICT業者へ委託

2 授業用支援システム（コラボノート）使用料 225,000 円

教育現場でのICT機器活用の幅を広げるため、交流・協働学習支援ツールを導入

【自己評価・今後の課題】

◇ 今後の工事計画について

学校施設の老朽化に伴い、工事及び修繕を必要とする箇所が増加しており、今後も多額の工事費を要することが予想される。

令和5年度に学校施設長寿命化計画（表1）を改訂したが、計画として記載した5年間で以降も施設の経年劣化に加え、20年後には各校校舎が築80年を迎える。今後児童・生徒数、学級数が減少することも考慮し、建て替え計画等を検討する必要がある。

児童生徒の学習環境整備が最優先ではあるが、町の厳しい財政状況や学校整備基金の積立額等を考慮した上で工事を実施する必要がある。

◇ 大規模改修工事について

記録的猛暑への対策として、普通教室及び特別教室への空調機器の整備を進めている（表2）。令和6年度は東部小、草木小特別教室への空調設置が完了し、令和7年度には全学校への設置が完了する見込みである。普通教室においては最も古い機器は設置から約10年が経過しているため、清掃業務を委託し、不具合が生じた機器の修繕を行い、児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、学習環境の整備に努めている。今後は、配膳室、体育館への空調機器の設置についても検討していく必要がある。

各校に設置されているプールについても老朽化が進んでおり、令和7年度にはスポーツ村交流センター内プールを活用して、授業を実施することになった。まずは南部小学校1校のみの実施となるが、他の小中学校においてもどのように実施していくか、学校と協議しながら計画をしていく。

学校校舎棟におけるトイレ改修工事については乾式化・洋式化工事が完了しているが、体育館のトイレについては複数校で未着手の状態である。長寿命化計画（表1）のとおり、令和8年度に阿久比中学校で改修工事を実施するために令和7年度には設計委託を予定しており、大規模災害発生時には町民の避難所として活用されることが想定されることから、草木、南部小学校においても計画通り順次進めていきたいと考えている。

◇ G I G Aスクール構想について

G I G Aスクール構想に関しては、環境整備のみではなく、I C T教育を推進する取り組みも進めている。学校にI C T支援員を派遣したり、授業用支援ツールを導入したりすることで、授業でのタブレット端末の活用を促進し、児童生徒の学びの充実だけでなく、教員のI C T活用指導力の向上にも繋がっていると考えている。タブレット端末は学校での活用のみならず、家庭学習でも活用できるように持ち帰りを推進し、学びを止めない教育環境の実現を目指している。

また、令和7年度には文部科学省が主導する「第2期G I G Aスクール構想（通称：N E X T G I G A）」が開始される。令和2年度に導入した児童生徒用タブレット端末の入替およびネットワーク環境の分析等を実施することとされていることから、令和7年度中に、導入に向けた計画の策定や準備をしていく。

(表1) 学校施設長寿命化計画(個別施設計画)における今後5年間の実施計画

今後5年間の実施計画(案)

事業名称	2024	2025	2026	2027	2028	
	R6	R7	R8	R9	R10	
	学校名	学校名	学校名	学校名	学校名	
新増築事業						
改築事業						
長寿命化改修						
大規模改造(老朽)						
大規模改造(トイレ)			阿久比中学校(体育館) 【トイレ改修工事】 金 13,852千円	草木小学校(屋内運動場) 【トイレ改修工事】 金 13,852千円		
大規模改造(空調)	東部小学校(北・南校舎特別教室) 【空調設備工事】 金 20,350千円 草木小学校(北・南校舎特別教室) 【空調設備工事】 金 17,930千円	英比小学校(南西校舎特別教室) 【空調設備工事】 金 23,662千円				
施設整備	部位修繕(防災機能強化含む)	南部小学校(北校舎) 【1階サッシ改修工事】 金 24,100千円 南部小学校(南東校舎) 【防火シャッター改修工事】 金 3,128千円	英比小学校(南西校舎) 【防火シャッター改修工事】 金 8,030千円 南部小学校(北校舎) 【2・3階サッシ改修工事】 金 49,896千円 南部小学校(北校舎) 【エレベータ新設工事】 金 59,400千円	英比小学校(北校舎) 【屋上防水工事】 金 23,550千円 南部小学校(北校舎) 【屋上防水工事】 金 29,418千円 阿久比中学校(北校舎) 【外壁改修工事】 金 76,274千円	東部小学校(北校舎) 【屋上防水工事】 金 25,757千円 東部小学校(南校舎) 【防火シャッター改修工事】 金 7,500千円 南部小学校(南東校舎) 【屋上防水工事】 金 11,458千円 阿久比中学校(体育館) 【屋上防水工事】 金 15,969千円	英比小学校(北校舎) 【外壁改修工事】 金 34,316千円 南部小学校(北校舎) 【外壁改修工事】 金 42,866千円

(表2) 各校空調設備設置状況 (○ 設置済 △ 一部設置 × 未設置)

	東部小	英比小	草木小	南部小	阿中
普通教室	○	○	○	○	○
その他特別教室等	○	△ (R7工事予定)	○	○	○
配膳室	×	×	×	×	×
体育館	×	×	×	×	×
					(R7工事予定)

※その他特別教室等については、図書室、音楽室、保健室、職員室等に設置しているが、理科室・図工室・家庭科室・視聴覚室等には設置されていない。

施策名	4 安全安心な学校給食センター運営
-----	-------------------

(担当：学校教育課 給食係)

【施策の概要】

- 学校給食センター「AGUMOGU」において、学校給食衛生管理基準の衛生管理の下、安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供する。
- アレルギー対応除去食について、卵・乳のアレルギーを有する児童、生徒、園児の保護者への調査票に基づき、除去食提供条件を満たし、除去食提供希望があった場合に、安全性を確保し、提供する。

【令和6年度の取組状況】

- 給食調理及び配送等委託業務を締結している業者と連携を図り、小学校・中学校192回、幼稚園183回、保育園226回の安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供した。
- アレルギー対応除去食提供については、学校・園への周知、保護者との面談、事前の準備、調理・配送シミュレーションの実施など万全の体制で実施した。保護者との面談は毎月実施し、児童、生徒、園児の現状を確認し、保護者の思い、家庭での試みも聞き取り、少しでもアレルギー症状がよくなるように助言等している。令和6年度は、年間回数41回、年間食数（卵）115食、同（乳）95食の提供を行った。令和5年度の年間回数42回、年間食数（卵）165食、同（乳）118食の提供に比べて、卵・乳ともに少ない人数（食数）での実施となったのは、卵や乳が食べられるようになり、通常給食へ移行した子どもがいたことによる。
- 食育の一環として、学校の給食委員会等で残食を減らす取り組みを行った際に、給食委員会や児童生徒の取り組んだ姿勢をたたえ、今後の給食時間につなげていくことを目的に、発行の希望があった学校に対し感謝状を贈っている。令和6年度は、東部小学校「残菜をへらそうキャンペーン」、草木小学校「残菜なくそうキャンペーン」、南部小学校「残菜ゼロ週間」に対して感謝状を贈った。
草木小学校では、11月と2月の2回実施し、この期間は、全体として残食量を減らすことができた。1回目の実施では5日間連続で残食ゼロだったクラスが、11クラス中5クラスという活動結果であった。2回目では、感謝状を励みに校内目標を工夫し、完食できないクラスでも普段より食べることを実感できるようにした。その結果、5日間残食ゼロが6クラス、4日間で2クラス、3日間で3クラスと1回目よりも残食を減らすことができた。

- 給食配送車の老朽化のため、電気自動車（EV）のトラックを導入した。配送車3台を更新するにあたり環境に配慮した電気自動車を採用し、令和5年度に1台、令和6年度に2台更新した。車体の側面と背面には、子どもたちに親んでもらうため「アグピー」のイラストを配置し、引き続き、子どもたちにおいしい給食と笑顔の配送を行った。

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 米をはじめとした食品の物価高騰は、賄材料費(食材費)への影響が多大であるが、令和6年度も賄材料費の物価高騰相当分(小学校30円、中学校40円、幼稚園・保育園・児童発達支援事業所20円)を公費負担とし、保護者の負担増とはしなかった。物価は更なる高騰もあるため、給食費増額を保護者の負担とするのか、公費の負担継続とするのか他市町の状況も踏まえ、引き続き検討していく必要がある。
- ◇ アレルギー対応除去食は、現在卵と乳のアレルギーに対応している。食物アレルギー対応は安全性の確保が必須である。対応の基準方針等を検討する「食物アレルギー対応委員会」については、準備していく必要がある。食物アレルギーを有する児童、生徒、園児対象者については、安心して学校生活、園生活を送ることができるよう対応していく。

「アグピー」のイラストを配置した給食配送車



【背面】



【側面】

施策名	5 魅力ある生涯学習機会の提供
-----	-----------------

(担当：社会教育課 社会教育係)

【施策の概要】

町では、令和元年度策定の「阿久比町生涯学習推進計画」に基づき、“学び ふれあい 育む未来”を目標に掲げて生涯学習推進事業を実施している。各年齢層の多様な住民ニーズに応え、魅力ある学習の機会の提供に努めている。

【令和6年度の取組状況】

<こどものまちあぐいっこTown2024事業> 437,319円

本事業は、仮想のまちである「あぐいっこTown」を子どもたちが自ら考え、作り上げる体験型イベント。遊びや仕事を通して楽しみながら社会の仕組みを学ぶことを目的とする。特に子どもスタッフは計9回のスタッフ会議の中で、異年齢間同士で話し合い準備を進めることで協調性や課題発見力の向上を図っている。令和6年度は10月5日(土)・6日(日)(両日ともに正午から午後3時)に中央公民館本館で実施した。なお、本事業は子育て支援グループむぎ・むぎに運営を委託している。

○実施状況(令和6年度)

- ・参加者数(2日間延べ人数・視察の大人を含む) 617人(前年度564人)
- ・子どもスタッフ数 52人(小学4年生から高校1年生)うち中学生は23人(前年度17人)
- ・委託先団体によると、スタッフ会議中に話し合いが中断したときは、中学生の声掛けや経験年数のある子どもの声掛けがスムーズな進行に寄与している。
- ・中学生スタッフの人数が年々増えており、小学生時にスタッフを経験した子どもが中学に進学後も参加してくれている。
- ・子どもスタッフは、1日目の反省会で自ら考えた改善策を提案したり、当日の予期せぬ事態も臨機応変に都度対応する姿がみられた。
- ・当日参加した子どもたちからは「様々な体験が出来楽しかった」等、「楽しかった」という感想が最も多かった(114人)一方で、「(仕事等が)大変だった」という声もあり(58人)、一人一人が様々な経験を得たことがうかがえる。
- ・各学校を通じた子どもスタッフ募集のチラシ配布やCOCOO(コクー・保護者向け情報通信アプリ)配信により、中学生を含めた子どもスタッフ募集の周知を図った。
- ・新たな取組として、高校や大学にもスタッフ募集の案内を行った。しかしながら、参加にはつながらなかった。



【あいさつするこどものまち「町長」】



【ハローワークで仕事を探す子ども】



【給料を受け取る子ども】

< 青少年体験ボランティア・体験活動推進事業 > 9,000 円

町社会教育課を事務局とする青少年体験ボランティアセンターでは、小中学生を対象に町内保育園での手伝い等、町施設を拠点としたボランティア・体験活動の場を提供している。活動を通じて思いやりの心や社会のルールを守る意識を育むことを目的としている。令和6年度は、年間を通じて「あぐいタイボキッズクラブ」等6つの活動の場を提供した。また、小中学生に体験を提供するボランティア講師登録制度を設けている。

○実施状況（令和6年度）

・参加者数（6つの活動の延べ人数） 463人（前年度 205人）

活動名	参加者数 (前年度人数)	対象
あぐいタイボキッズクラブ (年5回のボランティア活動)	13人 (6人)	小学4年～中学3年生
夏休みボランティア (町内21施設での活動)	237人 (117人)	小学1年～中学3年生 ※活動内容によって異なる
夏休み体験講座 ①図書館のお仕事体験（定員制）	5人 (6人)	小学4年～6年生
夏休み体験講座 ②盆踊りのタベ手伝い	3人 (10人)	小学4年～中学3年生
夏休み体験講座 ③絵手紙体験講座（おじいさん・おばあさんへ絵手紙をつくろう）	125人 (26人)	小学1年～中学3年生
冬休み体験講座 (干支ワッペンづくり)	22人 (9人)	小学3年～中学3年生
こいのぼり作りアドバイザー	30人（15人）	中学生
かえっこバザール運営ボランティア	28人（16人）	小学3年～中学3年生

- ・参加者数が昨年度より倍増した。特に夏休みボランティアや絵手紙体験講座の増加が顕著であった。担当職員作成の効果的なチラシが参加者増加に大きく寄与した。学校側の声掛けも、参加促進の効果をもたらした。
- ・タイボキッズクラブでの募金活動手伝い中、声掛けが苦手な小学生の子どもが中学生の姿を見て次第に声かけができるようになり、中学生がアイデアを提案する等中学生がリーダーシップを發揮した。
- ・活動では初めて出会う子ども同士でも、互いを思いやりチームワークよく活動をすすめていた。
- ・近年、高齢を理由にボランティア講師の登録者数が減少していることを受け、若い世代への働きかけとして近隣大学へ案内を行った。

～おうちでもできるボランティア～ おじいさん、おばあさんに
絵手紙を描こう

内容
○対象 小学1年～中学3年生 ※何枚でも大歓迎！
○日時 いつでも、どこでも！
お年寄りの方へ、温かい気持ちを込めた絵手紙が描けるとき♡
○ご自宅にある紙をA4サイズにカットし、自由に絵手紙を描いてください。
※絵手紙の裏面に「ボランティアセンター」の学校名・学年・地区を明記
○方法 ご提出いただいた作品は、敬老の日に関わらず、9月ごろに町内各所でもご利用の方へお送りする予定です

提出について
○方法 次のいずれか
※ 夏休みの課題提出日に、他の課題と一緒に学校へ提出
※ 9月末までに、社会教育課（中央公民館本館1階）の窓口へ提出
○問合せ 町久比野教育委員会 社会教育課（町久比野立中央公民館本館1階）内
町久比野青少年体験ボランティアセンター 電話：48-1111（内線1517）
※お申し込みいただいた個人情報は、社会教育課のイベント等のご案内に使用される場合があります。

昨年度の作品（一部）

【絵手紙体験講座のチラシ】

<男女共同参画講演会事業> 23,000円

男女共同参画啓発のため、あぐい女性の会との共催で実施した。令和6年度は12月8日（日）（午後2時から午後3時半）に町中央公民館で実施した。講師には、椿佳代氏（災害ボランティアコーディネーターなごや副代表・エンジェルランプ代表）を招き、「防災」をテーマに講演会を実施した。（講演演題「男女で考える防災講座～突然の避難所生活、あなたはどいうする？～」）なお、令和7年度より本事業は企画広報課が所管することとなった。

○実施状況（令和6年度）

- ・参加者数 59人（前年度47人）
- ・部屋後方で防災用品の実演をするなど、講師と受講者の距離感が近いものとなった。講演後に数人の参加者が質問をする等参加者の関心が高い内容となった。
- ・講演実施後のアンケートでは、「リアルな講演により、我が家の防災を見直す契機となった」、「女性、男性側の視点を理解することが大切だと思った」等、参加者が防災や男女共同参画について考える機会につながった。約9割の参加者が「満足」と回答した。
- ・昨年度「中高生への参加の働きかけの強化」について意見をいただいたが、テーマが防災ということもあり、小中学生保護者へのCOCOO配信のみにとどまった。若年層への働きかけについては、今後の課題として女性の会と共有し引き続き取り組んでいく必要がある。



【防災用品を見学する参加者】

なお、前回評価を受けた「親子スポーツ体験」は令和6年度も引き続き実施し、スポーツ推進委員の協力のもと、15家族（39人）の参加をいただいた。

【自己評価・今後の課題】

◇ こどものまちあぐいっこTownは、子どもたちの発想を尊重しサポートする等柔軟な対応が求められ、町職員のみでの運営は容易ではない。一方、子育て支援グループは、子どもの主体性を第一とした適切な対応を行うことが可能である。令和6年度においても、子どもたちが互いに協力しやすいように適切にサポートを行うことで、子どもたちの様々な成長につながった。今後も子育て支援グループとの連携が不可欠である。

また、昨年度、「中学生を巻き込む等、一工夫が必要」と意見をいただき、新たな取組として高校や大学へのスタッフ募集の案内を行ったが、参加促進にはつながらず課題が残った。今後、事務局としては、高校や大学への呼びかけ強化を継続するとともに、当グループより提案があった「あぐいっこTownでの仕事内容が実社会と連動する仕組み」（例：役場で使用する啓発品づくりを「仕事」にする）を構築し、子どもたちの学びの幅を広げていくように努めていく。

◇ 青少年体験ボランティア・体験活動推進事業については、活動に参加した子どもたちは直接活動先から感謝の気持ちを伝えられる等の経験により喜びや達成感を得て自己肯定感の向上が図られているのではないかと考えられる。引き続き、効果的なチラシ作成や活動内容の工夫により、魅力ある事業を展開する。

施策名	6 多様な学習機会の提供
-----	--------------

(担当：社会教育課 公民館係)

【施策の概要】

○公民館の役割「集う」・「学ぶ」・「結ぶ」の役割を担い、また、町民の生きがいをづくり、知識教養の向上、健康増進を目的として、各種講座・教室を開講する。

【令和6年度の取組状況】

○生きがい教室・講座 299,000円

生きがい教室・講座を22講座企画し、天候等の諸事情により中止になった講座もあったが、19の講座を開催した。

対象	番号	名 称	回数	募集定員	受講者数
青少年	1	キッズアートクラブ	11	15人	19人
	2	夏休み子ども教室	1	15人	15人
	3	メイキャップ講座	1	12人	6人
	4	空飛ぶアグピー	1	30人	中止
親子	5	親子で手打ちうどん教室	1	12組	中止
	6	親子でカップ寿司を作ろう	1	15組	4組
	7	箱ずしとおこしものをつくろう	1	12組	11組
	8	手づくりチョコ教室	1	12組	12組
一般	9	パソコン教室 ワードの基礎	9	10人	5人
	10	パソコン教室 エクセルの基礎	7	10人	中止
	11	和菓子講座	1	10人	10人
	12	男性のための簡単料理教室	5	15人	9人
	13	そば打ち体験教室	1	12人	11人
	14	お手軽フォカッチャとスイーツ作り	1	12人	9人
	15	美術講座 美術館へ行ってみよう	2	18人	18人
	16	陶芸教室	2	10人	9人
	17	狂俳教室	4	10人	16人
	18	川柳講座	7	20人	13人
	19	ソフトピラティス	4	20人	30人
	20	ドライビングレッスン	1	5人	5人
	21	eスポーツ講座（レーシング体験）	1	10人	5人
	22	終活講座	1	20人	22人

○阿久比町少年少女発明クラブ 補助額 100,000 円

阿久比町少年少女発明クラブを開講し、小学生及び中学生のクラブ員35人が、年間19回にわたり木工、自然エネルギーの学習と実習、プログラムの学習、ペットボトルロケット製作、電気工作等を行い、施設見学、技能五輪全国大会の見学に行った。

令和6年度は、令和5年度と同数の35人を受け入れて活動した。

【自己評価・今後の課題】

◇ アグピアホールの移動階段席は、設置・撤去を主に公民館職員のみで行っていたが、設営・撤去の作業の全部、または一部を手伝ってくれる部署が増えてきている。

ホールの設営・撤去は時間を要するため、移動階段席やアグピアホールの設備を扱う職員を増やし、設置・撤去を行えるようしたいが、操作手順を間違えると、設備の故障・破損を招くことが懸念される。

◇ 発明クラブは、土曜日の開催となっており、また事前に行く資材の買い出し、開講前の準備等、職員の負担はかなり大きい。当日の会場設営は、町内のある企業の指導員が中心となって手伝ってくれるので、他の企業の指導員にも働きかけて協力をいただけるようにしたい。

また、活動費は潤沢でないため、町内の各企業から多くの協賛金を集めるようPRが必要と考える。

◇ 週休日に講座を開催する場合、講師の依頼に苦慮するが、就労している方や学生も公民館講座に参加しやすいように6講座開催した。また、諸事情で開講できなかったものもあったが、年長から中学生までを対象とした講座も開催するなど、様々な世代の方を対象に講座を組むことができた。

◇ 中央公民館本館及びアグピアホールの利用者からは、特に設備面において様々な要望や意見をいただいている。全てに応えるのは予算的にも厳しく、公民館に関わっている各分野の専門業者から知識を得ながら、出来る限り要望に答えていきたいが、まずは防災関係が優先されるので、定期点検を欠かさず、壊れる前に更新したい。

◇ 公民館講座は、高齢者を含め、幅広い年齢層を対象とすることが好ましいと考えるので、令和6年度は、青少年向け、親子講座をそれぞれ2件増やし、若年層の参加を試みた。参加者は楽しそうに活動していたので、良い企画であったと思われる。今後も引き続き講座の受講状況等の把握に努め、受講者に喜んでいただけるようなものを目指したい。

施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
-----	-----------------

(担当：社会教育課 図書館係)

【施策の概要】

- 自発的な学習意欲に応えられるよう蔵書や資料などの充実を図り、誰でも気軽に利用できる施設を目指す。
- 講座やイベントの開催、展示ホールを生涯学習グループの成果発表の場として提供するなど図書館を多くの方に利用していただくための方法を考える。

【令和6年度の取組状況】

- 新しい講座・教室
昨年度の「笑いヨガ講座」「親子講座」に続き今年度は子ども向け教室として「夏休み習字教室」を開催し、小学生の図書館利用を促した。
- 保育園・学校との連携
 - <保育園連携>
4月の子ども読書の日（4月23日）にちなみ、保育園幼稚園等の園児が図書館見学と貸出体験を行い、読書指導グループぶんぶんの読み聞かせを行った。
 - <学校連携>
6月に、草木小学校3年生（34人）が、11月には、英比小学校2年生（136人）が、図書館探検（見学）と図書館研究（質問）を行った。
- 図書の有効利用
図書リサイクルフェア（11月7日から11月17日）を行い保育園、児童館、小学校、中学校等の公共施設に優先的に無償で譲渡した。また、一般の希望者へも無償で譲渡を行った。（図書リサイクルの内訳 注1参照）
- 青空図書館（阿久比プレイヤーガーデンプロジェクト事業）
春（5月）と秋（10月）に開催した。ふれあいの森に図書・雑誌を700冊運び、ブックトラックに並べ、青空の下での読書をしてもらった。図書館活動のPRを行い、春は233人（2日間）、秋は125人（1日間）の方が来場した。
- おはなし会
年間を通して毎週土・日曜日と祝日に読書指導グループぶんぶんの協力で、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。

○ おたのしみ会

7月に、読書指導グループぶんぶんの協力で、大型絵本の読み聞かせ、パネルシアター、人形劇を実施し、約80人の親子が来館した。

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 町内外の利用者の方々の読書活動を推進し、町民の生涯学習活動にも貢献できた。
- ◇ 図書館資料については、新刊図書の購入と除籍をバランスよく行い、新しい情報を提供することができた。今後も利用者の要望に耳を傾け、バランスの良い蔵書に心掛けていく。
(図書館資料 蔵書増減数 注2参照)
- ◇ 展示ホールは、学校関係をはじめ生涯学習サークル等の活動の成果発表の場として利用され、町の文化活動発展に役立っているため今後も続けていく。
- ◇ 魅力ある図書館づくりのために講座やイベントの開催にあたっては、幅広い年代層の参加、町民の生涯学習活動や子ども読書活動推進計画の推進に貢献できるよう、新しい講座やイベントを企画していく。
- ◇ 図書館利用者について、来館者の増大を図れるよう努めていく。特に利用が少ない中高生に対して図書館利用のきっかけになることを考えていく。(図書館利用状況 注3参照)
- ◇ おはなし会については、参加者人数にバラつきがあり、日によっては参加者がいない時もある。長年続いているイベントであり、集客を図る方法を検討していきたい。
- ◇ 図書館雑誌カバー広告については、利用件数が伸び悩んでいる現状である。広告を出した雑誌については来館者の目につきやすくするなどの工夫を行い、町と取引のある事業所を中心に制度の周知をしていきたい。
- ◇ 閉館時間が平日は18時また土日祝日の勤務もあるため、図書館勤務希望者が少なく、専門的な知識を要する司書や勤務時間に制約のない人材の確保が難しくなっている。継続的な人員確保に努めるとともに指定管理制度や業務委託制度の導入を検討・調査を進める。

(注1) 図書リサイクルの内訳

(単位：冊)

資料提供数	学 校	保育園等	個 人	計	リサイクル率	残 数
5,211	62	541	3,168	3,771	72.4%	1,440

(注2) 図書館資料 蔵書増減数 (単位：冊)

	令和5年度末 蔵書数	購入	寄贈等	除籍	令和6年度末 蔵書数
図書資料	112,534	3,564	77	3,097	113,078
視聴覚資料	8,005	129	2	2	8,134

(注3) 図書館利用状況

年 度	入館者数	貸出冊数	貸出人数
令和2年度	59,520人	141,446冊	27,976人
令和3年度	80,863人	205,417冊	40,006人
令和4年度	81,047人	201,825冊	39,861人
令和5年度	83,313人	203,074冊	40,665人
令和6年度	78,770人	190,658冊	41,567人



青空図書館



あなたも図書館司書

施策名	8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進
-----	---------------------

(担当：社会教育課 スポーツ係)

【施策の概要】

- 阿久比スポーツ村、町内各グラウンド、丸山武道場、白沢区民館、ふれあいの森などのスポーツ施設の整備に努め、全ての町民が安全にスポーツに親しめる環境整備を推進し、利用促進を積極的に図る。

【令和6年度の取組状況】

- “スポーツのまち・阿久比”にふさわしい環境整備と情報発信・町民のスポーツ活動支援の強化を目的に、スポーツ系の執務場所を交流センターへ移し、12月には、クラブハウスで行っていた、施設利用申請受付窓口とトレーニング室を交流センターへ移転し、利便性の向上に努めた。
- 各施設老朽化が進んでいるため、安全な環境でスポーツを行うことができるよう、修繕、工事等を行った。スポーツ村では、安全性・利便性向上のためスポーツ村歩道整備工事や野球場トイレ改修工事、トレーニング室移転に伴う空調設置工事、温水プール開始に係るボイラー改修工事などを実施した。

- 阿久比スポーツ村整備事業（主なもの）

1 交流センター防水工事設計業務 3,058,000 円

交流センター屋根等の防水工事に係る設計委託

2 陸上競技場天然芝生化改設工事設計業務 2,508,000 円

愛知・名古屋 2026 大会サッカー練習会場の採択を目指し陸上競技場トラック改修と天然芝生化改設工事に係る設計委託

3 野球場グラウンド整備工事 1,287,000 円

野球場内グラウンドの内野整備工事

4 野球場内外野境界芝撤去工事 1,290,300 円

野球場内外野境界部分の芝鋤取り・敷均し等工事

5 野球場通路舗装工事 1,870,000 円

野球場入口からスタンド正面入口までの通路舗装工事

6 陸上競技場外周走路改修工事 1,254,000 円

陸上競技場外周部ウッドチップ走路設置

7 スポーツ村歩道整備工事 25,472,700 円（【県】補助額 2,570,000 円）

交流センターからクラブハウス間の歩道整備工事

8 野球場トイレ改修工事 82,060,000 円（【その他】補助額 16,000,000 円）

老朽化していた野球場トイレ改修工事

9 交流センタートレーニング室等空調設置工事 41,580,000 円（【国】補助額 7,130,000 円）

トレーニング室の交流センター移転に伴う空調設置工事

10 交流センター特別支援指導員室空調設置工事 781,000 円

特別支援指導室への空調設置工事

11 交流センタートイレ改修工事 3,542,000 円

交流センター内トイレの洋式化工事

12 交流センター内線電話等設置工事 1,276,000 円

交流センター諸室と事務所を繋ぐ内線電話設置工事

13 スポーツ村外周部枯枝剪定伐採工事 1,826,000 円

樹木等伐採工事

【令和5年度からの繰越事業】

○スポーツ村整備事業

1 交流センタープールボイラー改修工事設計監理委託 4,070,000 円

交流センタープールボイラー改修工事に係る施工監理

2 トレーニング室移転委託 255,200 円

トレーニング室の交流センター移転に伴う機器移転

3 交流センタートレーニングルーム空調設置工事設計委託 770,000 円

交流センタートレーニング等空調工事に係る施工監理

4 交流センタープールボイラー改修工事 49,278,900 円

温水プール運用に伴うプールボイラー機の入替工事



【交流センター受付】



【トレーニング室】



【スポーツ村歩道整備工事】



【野球場トイレ改修工事】

【自己評価・今後の課題】

◇ 今後の改修計画について

全施設ともに経年劣化が目立ち、抜本的な改修工事の時期を迎えている。個別施設計画とスポーツ村再整備計画に基づき、財政負担軽減策や費用の平準化を研究し計画的に施設修繕を実施する必要がある。

◇ 今後のスポーツ村の活用・整備について

スポーツ村再整備計画では、スポーツ村各施設は今後5年間、施設の経年劣化による老朽化の改修と利用者のニーズを受けて改修する方針とした。長期的な視点から各施設のあり方の検討を継続し、その実現に向けた整備を令和11年度以降に予定するものとする。

令和7年度・8年度は、阿久比スポーツ村の一带の新たな利活用方策及び既存施設の再整備を検討し、利用者数・交流人口の増加、地域経済の振興、子育て支援、町民や多様な関係者の協創・協働活動の推進等の等、地域創生を目標とした「阿久比スポーツ村整備基本構想」を策定する。

施策名	9 多様なスポーツ及びイベント機会の提供
-----	----------------------

(担当：社会教育課 スポーツ係)

【施策の概要】

- 阿久比町生涯スポーツ推進計画の目標である、住民が健康で心豊かに、生きがいを持って生活が送れるよう、「それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動が推進され、スポーツを通じたつながりが人や地域の活力を生み出しているまち」の実現のため、町内スポーツ施設の適正な維持管理に努め、教室や大会などを開催し活動の機会提供に努める。

【令和6年度の取組状況】

- ニュースポーツ体験

誰もが、気軽に楽しめるニュースポーツ（ミニテニス、モルック、キンボール、吹き矢、フロッカー等）の体験や紹介をした。

期 日 令和6年5月11日

場 所 阿久比スポーツ村交流センター多目的体育室

参加者 12人（中学生以上）

- 体力テスト

スポーツ庁からの依頼に基づき、町民の体力・運動能力の現状を把握するため、成年（20～64歳）及び高齢者（65～79歳）を対象に実施。成年のテスト項目は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、急歩、立ち幅とび。高齢者のテスト項目は、握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行。

期 日 令和6年5月14日

場 所 阿久比スポーツ村交流センター多目的体育室

参加者 19人（成年11人、高齢者8人）

- ミニテニス教室

ニュースポーツの「ミニテニス」教室を開催。

期 日 令和6年5月～9月（全5回）

場 所 阿久比スポーツ村交流センター多目的体育室

参加者 11人（高校生以上）

- ジュニアスポーツ教室

スポーツの楽しさを学びながら体力づくりや友達づくりをねらいとして、小学生（教室によって対象学年は異なる）を対象にジュニアスポーツ教室を開催。

教室名	期日	回数	場所	参加者
バドミントン	5月～2月	10回	英比小学校体育館	40人
ニュースポーツ	5月～2月	10回	英比小学校体育館	33人
陸上	5月～3月	10回	スポーツ村陸上競技場	60人
剣道	6月、7月	17回	丸山公園武道場	18人
ソフトテニス	6月	8回	白沢テニスコート	10人
卓球	7、8月	5回	丸山公園武道場	28人

○ 第76回 阿久比スポーツフェスティバルレクリエーション大会

町民が一堂に集い、運動を通じて親睦を図ることを目的に、スポーツの普及と体力の増進をねらいとして開催。地区対抗の得点種目もあり、地区住民の親睦と結束を高める機会となっている。地区からの「参加者が少なく人集めが難しい。」という声を踏まえ、一部競技において参加条件を変更し実施した。選手がそろわずに棄権した地区もあったが、例年並みに盛り上がりのある大会となった。

期 日 令和6年10月13日

場 所 阿久比中学校運動場

参加者 町内在住・在勤・在学者、23行政区 2,000名

○ 第17回 愛知県市町村対抗駅伝大会（愛知駅伝）

2005年に開催された「愛知万博」のメモリアルイベントとして、愛知県内54全市町村チームが市の部、町村の部に分かれ9区間30.2kmのコースを競う。阿久比町チームは、町村の部3連覇を達成した。



【愛知県市町村対抗駅伝大会】

期 日 令和6年12月2日

場 所 愛・地球博記念公園

○ 第47回 健康づくりマラソン大会

誰でも参加可能な1.5kmのジョギングコースと小学生男女（4～6年生）2.2km、中学生女子2.5km、中学生男子3km、一般男女（高校生～49歳）5km、一般男女（50歳以上）5kmの8つの競技の部で健康増進を目的に開催。大会実施に係る協賛金を募集し、またジェイプロジェクト硬式野球部5名をゲストランナーとして招き、大会を盛り上げた。



【健康づくりマラソン大会】

期 日 令和7年1月19日

場 所 阿久比スポーツ村陸上競技場周辺コース

参加者 延べ912名

○ プール一般開放

場 所 阿久比スポーツ村交流センタープール
 時 間 日・火・水・木 午前10時～午後4時
 金・土 午前10時～午後8時

① 夏季

期 間 6月29日～8月15日（月曜日休場） 41日間
 利用者 2,169人

② 温水化プレオープン

期 間 3月18日～3月30日（月曜日休場） 12日間
 利用者 391人

○ アマチュアスポーツ教室

町制70周年記念事業として実施したプロ・アマチュア選手とのスポーツ教室が好評だったため、令和6年度は東浦町との共同開催として、小学生を対象に野球教室とサッカー教室を企画した。残念ながらサッカー教室は天候不良のため中止となってしまったが、ジェイプロジェクト硬式野球部による野球教室は一流のプレイヤーの技術を身近に感じることのできる貴重な機会となった。



【アマチュアスポーツ教室】

参加状況

教室名	講師	参加人数	期日	開催場所
野球教室	ジェイプロジェクト 硬式野球部	65人 阿久比 54人 東浦 11人	R7.2.24	スポーツ村 野球場
サッカー教室	FC刈谷	※天候不良により中止		

○ 各スポーツ施設の利用状況

スポーツ村利用状況

施設名	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
陸上競技場（団体）	件数	347	336	300
	人数	19,281	17,732	15,279
陸上競技場（個人）	人数	2,067	2,171	1,371

施設名	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
野球場	件数	257	262	264
	人数	19,768	20,376	15,599
室内練習場	件数	238	244	307
	人数	13,596	13,773	15,283
交流センター(団体)	件数	591	700	831
	人数	11,201	13,618	16,376
交流センター(個人)	人数	547	533	602
トレーニング室	人数	3,307	4,518	4,975

グラウンド利用状況

施設名	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
白沢	グラウンド	件数	296	310	324
		人数	16,439	16,355	14,753
	テニスコート	件数	1,594	1,238	1,507
		人数	18,299	15,743	16,624
	多目的広場	件数	1	20	50
		人数	120	2,030	3,650
板山グラウンド	件数	229	229	200	
	人数	16,182	15,476	10,424	
草木グラウンド	件数	325	320	328	
	人数	12,179	12,318	10,392	

丸山公園武道場利用状況

施設名	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
武道場	件数	961	983	950

白沢区民館利用状況

施設名	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
体育室	件数	559	623	586
大会議室	件数	132	200	182
会議室	件数	191	154	146
卓球場	件数	271	285	282

ふれあいの森利用状況

施設名	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
パターゴルフ	人数	1,362	1,558	1,340
デイキャンプ	件数	51	61	84
	人数	457	1,000	1,391
体育室	件数	872	1,015	1,128
	人数	11,306	12,837	11,710
入園者数	人数	75,921	60,745	57,925

- スポーツ村すこやか町民開放
毎月第3日曜日（家庭の日）に、陸上競技場を町民の憩いの場として無料で開放した。
利用者 104人
- ふれあいの森体育館一般開放
毎月第3日曜日（家庭の日）に、体育館を町民の憩いの場として無料で開放した。
利用者 686人

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 利用申請受付場所を交流センターへ移転したことにより、スポーツ係職員と受付職員がより連携を図ることが可能となり、町内スポーツ施設の利用者への対応や維持管理に係る修繕など迅速に対応できるようになった。
- ◇ スポーツ教室やイベントについても、スポーツ系の執務場所が交流センターへ移ったことにより、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ「アクティブあぐい」ともより連携を図ることができるようになった。
- ◇ ニュースポーツ体験、体力テスト、ミニテニス教室、町民開放では、参加者がなかなか集まらない状況がある。実施内容や教室のあり方、参加者募集方法などを検討する。
- ◇ スポーツ村各施設をイベントの会場として提供した。3月開催の、「あぐい結びの市 よりみち-yorimichi-春」は雨天中止となったが、2月8月から16日までに開催した、阿久比町灯籠まつりは野球場において竹灯籠・灯籠の設置、音楽ライブの開催、クラブハウス内でのワークショップの開催、駐車場ではキッチンカーによる飲食スペースが設けられ、町内外から延べ14,000人が訪れた。一方で、周辺道路に交通渋滞が発生したり、スポーツ村体育施設の利用者から、駐車場が満車で利用ができないとの苦情も寄せられたりした。スポーツ村を施設開放としてイベントの開催に協力することと既存のスポーツ施設の利用とのバランスを図る必要がある。

Ⅲ 学識経験者の意見

教育委員会事務評価委員会報告書

令和7年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会

教育長 竹内 淳 殿

阿久比町教育委員会事務評価委員会は、令和6年度の阿久比町教育委員会事務について、令和7年6月23日、7月7日、8月8日と3回の委員会を開催し、点検・評価を行った。

次のとおり、評価結果を報告する。

令和7年8月12日

阿久比町教育委員会事務評価委員会

委員長 田中悦夫（元小学校長）

委員 水谷正治（元小学校長）

委員 吉住まり子（元あぐい女性の会会長）

評価結果

<p>施策名</p>	<p>1 幼保小中一貫教育の推進</p>
<p>○ 町内の児童生徒の実態と今日的課題から、「体力向上推進部」と「外国語活動部」を新設し、精力的に活動に取り組まれたことは大いに評価できる。</p> <p>○ 今後は「体力向上推進部」の課題となった握力やボール投げの記録向上に向けて系統立てた対策を講じたり、「外国語活動部」の取り組みとして目標にしている「中学校3年生の50%が英語検定3級取得」を目指したりするなど、活動の成果が目に見える形であらわされることを期待したい。</p> <p>○ 「写真で振り返る1年のあゆみ」のまとめ誌は各部、各幼保小中学校のさまざまな取り組みの様子が紹介されており、町内外の方に阿久比町の幼保小中一貫教育が目指している方向を説明するにふさわしいものになっている。毎年発行することはできないまでも、写真を含む資料の蓄積と保存を今後も続けていただきたい。</p> <p>○ 幼保小中一貫教育も20年が経過し、この取り組みで成長した児童生徒も現在は親世代となっている。社会も環境も変化し、今日的課題も多方面へと広がる中、施策を基に企画と指導をされている方々には敬意を表したい。</p>	
<p>施策名</p>	<p>2 いじめ・不登校対策の充実</p>
<p>○ 不登校の児童生徒数は若干減少傾向にあるものの高止まりの状況にあることは残念なことである。</p> <p>○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員が協力・連絡を強化して適切な支援をされたことは評価できる。今後も学校との連携を深めて、子どもや家庭との信頼関係に結びつくような支援体制をお願いしたい。</p> <p>○ 不登校の児童生徒、また、その保護者と直接対応するのは担任教師である。担任教師の負担軽減も必要であろうが、担任教師が自らの力で問題解決できるよう、研修等の機会も与えていただきたい。</p> <p>○ 多くの先生方の力をお借りして、子どもたちがそれぞれに良かったと思えるような素晴らしい人生を生き抜いてくれることを心から祈っている。</p>	
<p>施策名</p>	<p>3 学校施設及び設備の整備・改修等の推進</p>
<p>○ 児童生徒が学校生活を送るうえで、健康・安全を第一に考えて、昨今の猛暑に対応すべく空調設置工事を進められたことは大いに評価できる。</p> <p>○ 令和5年度に改訂された「阿久比町学校施設長寿命化計画」により、計画が明瞭化されている。順次、実施が進められやすくなり、「今後の課題」</p>	

<p>に掲げられている案件の取り組みについても解決が見えてきていることと 思われる。実施計画の策定を大いに評価し、今後を期待している。</p> <p>○ 今後、計画にはなかった突発的な工事が必要となることも予想される。 常に児童生徒の安全・健康を最優先にして取り組んでいただきたい。</p>	
施策名	4 安心安全な学校給食センター運営
<p>○ 食材・燃料費等が急騰する中、限られた予算内で栄養バランスのとれた おいしい給食を毎回提供し続けていることを高く評価する。</p> <p>○ 各小学校の給食委員会等での残食を減らす取り組みとして「残菜をなく そう、へらそうキャンペーン」及び、「残菜ゼロ週間」などを実施し成果を 納めたことに対して給食センターから感謝状を贈られたことや、子どもた ちからの日頃の給食に対するお礼の手紙から、給食センターが学校との温 かい交流に尽力されていることが分かる。</p> <p>○ アレルギー対応除去食提供も3年が経過し、保護者との面談と助言を繰 り返し、通常食に移行の子どもたちが増えてきているなど、その実績は大 きく評価できる。</p> <p>○ 「食物アレルギー対応委員会」の設置が給食センターの運営に必須のもの であるなら、関係当局も含めて早急に対応されたい。</p>	
施策名	5 魅力ある生涯学習機会の提供
<p>○ 青少年体験ボランティア・体験活動推進事業では、6つの活動での参加 者数が昨年度と比較して2倍以上の数となっている。特に「夏休みボラン ティア」には中学生が多く参加できており、町の未来を担う世代が健全に 成長できている証とも考えられ喜ばしいことである。</p> <p>○ せっかく幼保小中高まで連携をしているので、高校生にも積極的にボラ ンティア活動に参加してもらえよう働きかけて頂きたい。</p> <p>○ 青少年体験ボランティアは希望者が大幅に増えている。人とのふれあい や社会の仕組みとルールを守ること、人に対する思いやりの大切さを学ん だり体験したりする良い機会となっている。今後も地域の方々との協力を 進めていただきたい。</p> <p>○ 近年、地震や風水による災害が多く、「防災」がより身近に感じられるよ うになり、それをテーマとした講演会が増えている中で、「男女共同参画講 演会」では女性の立場から見えることや役割などが加味され、協働の大切 さを学ぶことのできた良い機会になったと評価できる。</p>	

施策名	6 多様な学習機会の提供
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生きがい教室・講座については天候や諸事情等で中止とされた講座があるものの、19もの講座を企画、運営されたことを高く評価したい。 ○ 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、「生きがい教室」では幅広い年代を対象とした楽しみ、学べる講座が数多く企画され、受講者も多く公民館にも活気が戻ってきたことから、大いに評価できる。 ○ 企画には苦慮されることが多いと思うが、高齢者向けに、映像による旅の講座や健康講座なども組入れるなど、今後も心身ともに楽しめる講座を期待している。 ○ 「少年少女発明クラブ」の運営に関しては土曜日開催ということで担当職員の方の負担が大きいことが分かる。町内にはこの活動に対して理解、協力をしてくださる企業が幾つかあることをお聞きしている。ボランティア講師の派遣や協賛金をお願いするには担当職員だけでなく、町の上層部の方々のお力をお借りすることが必要ではないか。 	
施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力ある図書館づくりに向けて、幅広い世代を対象に様々な取り組みを継続的に行い、成果を上げていることは高く評価できる。 ○ 中高校生の利用者を増大させたいという思いがあるようだが、若者に人気のある他市町の図書館の運営状況を参考にしたり、内部施設の充実を図ったりしながら、若者にしっかりとPRできるよう努力していただきたい。 ○ 「おはなし会」や「おたのしみ会」に子どもが参加するには保護者の協力が不可欠である。幼保や小学校の保護者に働きかけて、図書館の魅力や読書の楽しさ、大切さを親子で体感できるよう今後も努めていただきたい。 	
施策名	8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進
<ul style="list-style-type: none"> ○ “スポーツのまち・阿久比”の呼び名にふさわしい施設の改修工事、環境整備に努められたことは評価できる。 ○ スポーツ村の中心的施設となるのが「交流センター」であろうが、名称が文化交流施設と混同されはしないだろうか。 ○ 各種スポーツ大会（甲子園の予選等）やイベント（阿久比町灯籠まつり等）の開催時に駐車場や周辺道路の混雑や渋滞の問題が指摘されたとのこと。施設の整備だけにとどまらず、周辺道路の整備拡張も必要であろう。今後の課題に記されている地域創生を目標とした「阿久比スポーツ村整備基本構想」の策定に大いに期待している。 ○ 「交流センター」は今後、阿久比町の象徴ともなる素晴らしい施設なので、整備計画から地域創生の町づくりへと、繋がり広がっていくことを期 	

待している。

施策名

9 多様なスポーツ及びイベント機会の提供

- 阿久比町はスポーツ振興に力を注ぎ、各施設の維持管理に多額の費用を充てている。その各施設を様々な企画で有効利用し、町民の方に喜んでもらおうという姿勢は評価できる。
- 「交流センター」を核とすることで、スポーツ関連の業務がよりスムーズに行われるようになったことは評価できる。
- 愛知駅伝町村の部3連覇という輝かしい成績を収められたことは町民の誇りであり、指導者並びに関係各位の皆様の地道な努力の賜物と高く評価できる。
- ジュニアスポーツ教室の段階から中学生等の地域クラブへの移行が今後の大きな課題になると思われる。子どもたちが参加したいと思えるような組織作りをお願いしたい。